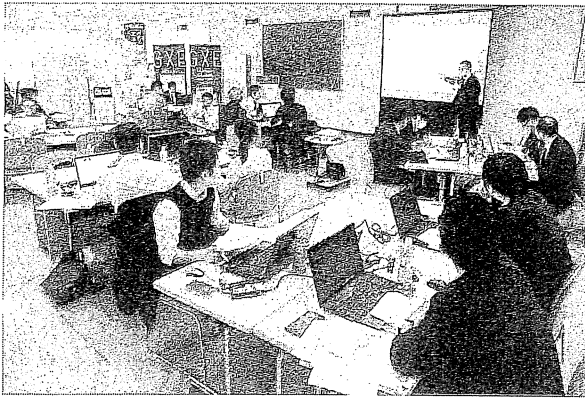


2018年(平成30年)5月14日(月曜日)

## プロパン・ボタンニュース

4月20日に行った第3回研修。一次エネルギー消費計算プログラムの入力方法などを学んだ



コーアガス日本(本社・鹿児島市、上小鶴貞子社長)と南日本ガス(本社・薩摩川内市、上園真歩社長)は2~4月、鹿児島市の宝山ホールで「ZEH・省エネ基準適合義務化研修会」を開いた。各回40人を集め計3回シリーズで実施した。

### コーアガスグループ 建築業界向け研修

# ガス機器のZEH標準に

講師はエー・ディー・エル一級建築士事務所の沖田光平氏。住宅のゼロエネルギー化や2020年の省エネ基準適合義務化を見据え、コーアガスグループと取引関係にある鹿児島県内のハウスメーカーや工務店に一般家庭の一次エネルギー削減に有効なガス機器の性能を学んでもらい、住宅建築業界との相互発展を目的とした。

2月23日に行った第1回研修は建築物省エネ法の概要、ZEHの概要と対応の必要性、省エネ基準適合義務化の概要、今年度補助事業の概要などを講義。3月23日の第2回は外皮計算プログラムを入力方法を習得した。4月20日の第3回はエネファームやハイブリッ

ド給湯器など設備関係の一次消費量削減効果を検証するため、国立研究開発法人建築研究所の「エネファーム」やリンナイ「エコワン」、長州産業「ソラトモ」なども展示し理解を深めた。

エネルギー消費計算プログラムVer2.4.1を用いた一次エネルギー消費計算プログラムを入力方法を研修。パナソニック製エネファームやリンナイ「エコワン」、長州産業「ソラトモ」なども展示し理解を深めた。